

<報道発表資料>

教育総務部 文化財保護課

担当 課長 岸本 光子

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp

第39回企画展『埼玉県東部地区の交通』

10月21日（土）から12月3日（日）まで、八潮市立資料館（八潮市南後谷763-50）において、第39回企画展『埼玉県東部地区の交通』を開催します。

※第39回企画展は、埼玉県東部地区文化財担当者会第7回巡回展の一環として行います。

1 目的または原因

古くから河川による物資輸送が発達してきた埼玉県東部地区に、明治期の鉄道交通の開設に始まる交通網の変化が、どのような影響をもたらしたのか、東部地区15市町の事例を交えて紹介します。

2 内容

本展示会では、八潮市域における流通経済の発展と舟運、産業の興隆、幻に終わった鉄道計画などを紹介するとともに、東部地区15市町の共同調査の結果を展示します。

《関連事業 第78回歴史講座 講演会》 ※費用については無料

- ・日時：11月23日（祝）午後1時30分～
- ・演題：「埼玉県東部の鉄道史」
- ・講師：老川慶喜さん(跡見学園女子大学教授)
- ・定員：45人（要申込）

3 見解

都心から15キロ圏内にあり、河川交通により流通経済を支えていた八潮市域に、明治以降多くの鉄道計画が持ち上がりながらもそれが幻に終わった経緯や、埼玉県東部地区の交通の特色をご紹介したいと考えています。

4 添付資料

- ・資料1 チラシ（第39回企画展）
- ・資料2 パンフレット（第39回企画展）
- ・資料3 チラシ（巡回展）

第39回企画展

第7回 東部地区文化財担当者会巡回展

埼玉県

東部地区の交通

平成29年10月21日(土)

~12月3日(日)

八潮市立資料館

開館時間:午前9時~午後5時

休館:月曜日、11月4・24日

埼玉県八潮市大字南後谷 763 番地 50

☎048-997-6666

<http://www.city.yashio.lg.jp/kurashi/shisetsuguide/shiryokan/>

●アクセス●

- ・東武スカイツリーライン草加駅東口より徒歩 25分
- ・東武スカイツリーライン草加駅東口よりバスで手橋バス停下車徒歩5分
- ・つくばエクスプレス八潮駅北口よりバスで後谷住宅前または南後谷バス停下車徒歩3分



関連事業 第78回歴史講座(講演会)

日時:11月23日(祝) 午後1時30分~

演題:「埼玉県東部の鉄道史」

講師:老川慶喜氏

定員:45名(要申込)

水上交通

番号	資料名	年代	所蔵	展示形態
1	十組奥川船積問屋場所附		東京都立中央図書館	写真パネル
2	河岸場分布図		東部地区文化財担当者会	写真パネル
3	河岸場一覧		東部地区文化財担当者会	写真パネル
4	送状之事(年貢積送りにつき)	文化元年	個人(八潮市)	実物資料
5	差上申一札之事(年貢米積送りにつき)		当館	実物資料
6	上馬場村鑑帳	享保10年	個人(八潮市)	実物資料
7	舟袋村絵図	享保6年	個人(八潮市)	複製資料
8	本所御蔵番付絵図	天保5年	個人(八潮市)	写真パネル
9	江戸切絵図(本所絵図)	嘉永5年	国立国会図書館	複製資料
10	高瀬舟(江戸川)	明治時代	個人(春日部市)	写真パネル
11	権現堂川と高瀬舟	大正時代	個人(幸手市)	写真パネル
12	船鑑(高瀬舟)	明治6年	国立国会図書館	写真パネル
13	船鑑(舟船)	明治6年	国立国会図書館	写真パネル
14	似輪船手形	安政2年	個人(八潮市)	実物資料
15	(古利根川筋中川通絵図)	寛政8年	個人(八潮市)	写真パネル
16	覚下肥代金領収二付		個人(八潮市)	実物資料
17	河川付近工作物設置願	昭和9年	当館	写真パネル
18	昭和33年度船舶取扱尿伝票		当館	実物資料
19	中川船移出入品調査報告	明治26年	個人(八潮市)	写真パネル
20	汚穢船	明治期	個人(八潮市)	写真パネル
21	桑袋河岸付近に集まる川船	昭和36年	国土地理院	写真パネル
22	日本煉瓦潮止工場全景	昭和32年	深谷市教育委員会	写真パネル
23	船瓦回漕船		深谷市教育委員会	写真パネル
24	船業(金町製瓦株式会社移転届)	大正5年	当館	実物資料
25	船台帳(船台帳、船課税台帳)		当館	実物資料
26	堤場占用井工作物設置変更願	大正7年	当館	実物資料
27	東京両国通運会社川流往復繁栄真景之図	明治10年代	物流博物館	写真パネル
28	通運丸	明治43年頃	物流博物館	写真パネル
29	通運丸手帳		春日部市郷土資料館	実物資料
30	栗橋寄客扱所		物流博物館	写真パネル
31	西開宿寄客扱所		物流博物館	写真パネル
32	古川丸		境町歴史民俗資料館	写真パネル
33	古川丸営業広告		久喜市立郷土資料館	実物資料
34	船橋(宝橋)設計図面		春日部市郷土資料館	実物資料
35	宝橋回数券		春日部市郷土資料館	実物資料
36	渡船場開設願	明治19年	当館	実物資料
37	渡船場絵図	大正9年	当館	実物資料
38	八條橋架橋工事写真	昭和5年	個人(八潮市)	写真パネル
39	八條橋渡り初め	昭和5年	個人(八潮市)	写真パネル
40	工事中の共和橋	昭和2年	個人(八潮市)	写真パネル
41	共和橋渡り初め	昭和2年	個人(八潮市)	写真パネル
42	御幸場豊島郡外七郡領々村々絵図	天保3年	個人(八潮市)	複製資料
43	フランス式彩色絵図	明治期	国土地理院	写真パネル
44	「越ヶ谷瓜の巻」		埼玉県立文書館	写真パネル
45	「遊歴雑記」		国立公文書館	写真パネル
46	八條村絵図		個人(八潮市)	複製資料
47	中馬場村・大原村・大曾根村・浮草村絵図		個人(八潮市)	複製資料
48	鹿間渡世向名前書上帳	天保14年	個人(八潮市)	実物資料
49	千住花又瀬崎辺之図		足立区立郷土博物館	実物資料

陸上交通

番号	資料名	年代	所蔵	展示形態
50	東部(埼玉・北埼玉)地区管内鉄道網		東部地区文化財担当者会	作図パネル
51	東武鉄道路線平面図(建設予定図)		東武博物館	写真パネル
52	開業当時の時刻表	明治32年	宮代町郷土資料館	実物資料
53	杉戸駅	明治年間	杉戸町	写真パネル
54	草加駅	昭和34年	草加市	写真パネル
55	地下鉄日比谷線乗り入れ一番電車	昭和37年	個人(草加市)	写真パネル
56	陳情書	大正12年	当館	実物資料
57	東武日光線の計画路線図		東部地区文化財担当者会	作図パネル
58	幸手駅開業祝賀会	昭和4年	個人(幸手市)	写真パネル
59	東武日光線開通風呂敷	昭和4年	幸手市	実物資料
60	東武野田線の駅舎の変遷		東部地区文化財担当者会	作図パネル
61	総武電車沿線案内		野田市興風図書館	写真パネル
62	電車時刻表(総武鉄道)		春日部市郷土資料館	実物資料
63	杉戸機関区蒸気機関車		宮代町郷土資料館	写真パネル
64	東武鉄道杉戸機関区機関助手代理任命状	昭和33年	個人(宮代町)	実物資料
65	東武鉄道杉戸機関区機関助手代理メモ		個人(宮代町)	実物資料
66	蒸気機関車火室内耐火煉瓦聞き取りメモ		宮代町郷土資料館	実物資料
67	蒸気機関車火室内耐火煉瓦	昭和35年頃	宮代町郷土資料館	実物資料
68	蒸気機関車火室内耐火煉瓦表示版	昭和39年頃	宮代町郷土資料館	実物資料
69	東武鉄道制服帽子		個人(幸手市)	実物資料
70	東武鉄道制服(冬服)		宮代町郷土資料館	実物資料
71	東武鉄道コート		宮代町郷土資料館	実物資料
72	ボイルの大宮分岐案	(明治9年)	東部地区文化財担当者会	作図パネル
73	第2区線龍谷分岐案	(明治17年)	東部地区文化財担当者会	作図パネル
74	行田駅開業式典	昭和41年	行田市	写真パネル
75	久喜駅	明治30年代	久喜市	写真パネル
76	白岡駅	大正初期	白岡市	写真パネル
77	南越谷駅開通式典	昭和48年	越谷市	写真パネル
78	汽車時刻表	明治19年	個人(宮代町)	実物資料
79	遊覧地案内 東部鉄道管理局	昭和42年	春日部市郷土資料館	実物資料
80	東北線(蓮田～栗橋)定期券	昭和17年	蓮田市文化財展示館	実物資料
81	武州鉄道車輦	昭和初期	蓮田市	写真パネル
82	中央軽便鉄道(武州鉄道)路線予定図	(明治43年)	東部地区文化財担当者会	作図パネル
83	武州鉄道葛籠駅予定地		東部地区文化財担当者会	作図パネル
84	水路図(武州鉄道路線)	昭和4年頃	宮代町郷土資料館	実物資料
85	千住馬車鉄道敷設願	明治22年	埼玉県立文書館	写真パネル
86	千住馬車鉄道予定路線略図		埼玉県立文書館	写真パネル
87	千住馬車鉄道車両側面図		埼玉県立文書館	写真パネル
88	千住馬車鉄道 草加市内の鉄路	明治28年	草加市	写真パネル
89	広告(千住馬車鉄道発車時刻表)	明治26年	埼玉県立文書館(白石家文庫)	複製資料
90	毛武鉄道株式会社出願路線図		埼玉県立文書館	写真パネル
91	草加馬車鉄道設立願書	明治31年	埼玉県立文書館	写真パネル
92	明治29年埼玉東部地区鉄道敷設計画一覧		東部地区文化財担当者会	表パネル
93	幸手鉄道路線図	明治44年	幸手市	実物資料
94	停車場敷地寄付芳名簿	大正15年	幸手市	実物資料
95	停車場敷地寄付開口割帳	大正15年	幸手市	実物資料
96	開東軽便鉄道出願ノ軽便鉄道敷設ノ件ニ付回答	大正元年	当館	実物資料
97	開東軽便鉄道路線図	大正元年	当館	実物資料
98	東武電気軌道敷設許可申請に対する陳情書	大正10年	当館	実物資料
99	東武電気軌道路線図(20万分の1地図)	大正14年	当館	実物資料
100	東武電気軌道路線図	大正14年	当館	写真パネル
101	筑波高速電気鉄道株式会社路線図	昭和3年頃	柏市教育委員会	実物資料
102	起業目録見	大正12年	当館	実物資料
103	地方鉄道敷設ニ関スル取調ノ件(回答)	大正12年	当館	実物資料
104	地方鉄道敷設ニ関スル取調ノ件(回答)	大正12年	当館	実物資料
105	未来を拓く常磐新線	平成9年	当館	実物資料
106	計画概要図		当館	実物資料
107	常磐新線沿線 駅概念図		当館	実物資料
108	開業時の写真	平成17年	当館	写真パネル
109	ミニ幟旗	平成17年	当館	実物資料
110	スピーフィぬいぐるみ	平成17年	当館	実物資料
111	つくばエクスプレスだより50	平成17年	当館	実物資料
112	つくばエクスプレスラレー	平成17年	当館	実物資料
113	八潮駅周辺模型		個人(八潮市)	実物資料



企画展関連事業

第78回歴史講座「埼玉県東部の鉄道史」 講師：老川慶喜氏(跡見学園女子大学教授)
 日時：11月23日(祝) 午後1時30分～3時00分 場所：当館視聴覚講座室 定員：45名(要申込)

展示協力者・機関(敬称略・順不同)

染谷幹夫 中島清治 岸本規生 青木秀雄 原官 折原静佑 白石昌和 浜田得一(故人)
 高橋春子 濱野義秀 田中栄一郎 小澤正直 浜野剛 太田武彦 森下純三
 東武博物館 物流博物館 足立区立郷土博物館 柏市教育委員会 境町歴史民俗資料館
 野田市興風図書館 春日部市郷土資料館 行田市 久喜市立郷土資料館 久喜市 越谷市 幸手市
 白岡市 杉戸町 草加市 蓮田市文化財展示館 蓮田市 深谷市教育委員会 宮代町郷土資料館
 埼玉県立文書館 東京都立中央図書館 国立公文書館 国立国会図書館 国土地理院

編集・発行 八潮市立資料館

埼玉県八潮市大字南後谷763番地50
 TEL 048-997-6666 FAX 048-997-8998
<http://www.city.yashio.lg.jp/kurashi/shisetsuguide/shiryokan/>





八潮市を流れる中川や綾瀬川は、古くから川船を用いた物資の輸送が盛んに行われていました。さらに江戸時代には、河川改修による舟運路の整備や貨幣経済の浸透が進み、水運はさらに活発化します。年貢米を始めとする様々な荷物を積んだ川船が、江戸との間を盛んに行き来し、当時の商品流通を支えていました。

また流通動脈としての水運は、各地に醸造業や製造業などの新たな産業をもたらしました。八潮市域でも、江戸時代後期にはじまる染色業や近代に成立する煉瓦製造業など新たな産業が誕生し、地域経済の発展をみただけです。

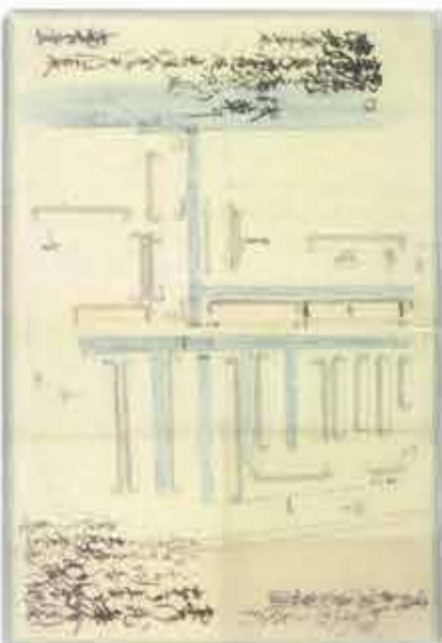
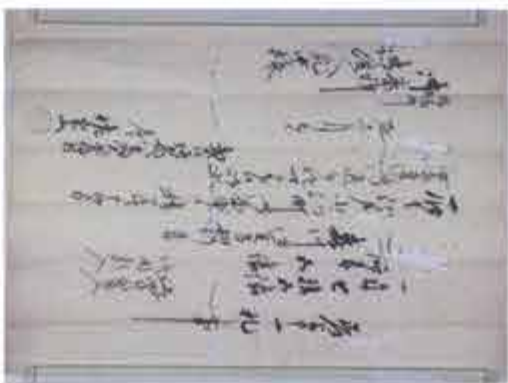
年貢米輸送

差上申一札之事 当館蔵

大曾根村の年貢米 80 俵余りを江戸にある領主の屋敷まで船で送る際、積み荷の内容と送り先を記し通行を願った文書です。

宛先である「橋場町御番所」は、享保6年(1721)に川船役所の出先機関として開田川治いの浅草橋場町に設けられました。

番所の主な任務は、無橋印船の検発、江戸を出入する人や荷物の査検で、商品流通の発達に伴い増大した川船の統制を目的としていました。



天保5年(1834) 本所御蔵番附略図 個人(八潮市)蔵

本所御米蔵は、元は幕府の材木蔵でしたが、享保19年(1734)からは対岸の浅草御米蔵とともに幕府の米蔵としての役割を担いました。資料は、西袋村の名主が描いた本所御米蔵内部の見取図で、「船で年貢米を納入する際、指定された番号の蔵に迷わずたどり着けるよう記帳を頼りに描いた」と端書に記しています。

流通経済の発達と舟運

安政2年(1855) 似船船手形

個人(八潮市)蔵

川船が船改め(検査)を受けると、船体3カ所に領印が打たれ、船の大きさに応じた税金が課せられました。

資料は、二丁目村の次助が所有する似船一艘の渡船願いに対し、「上橋印」(課税取消処分)とすることを証した川船役所発行の手形です。

○船に打たれた領印の種類

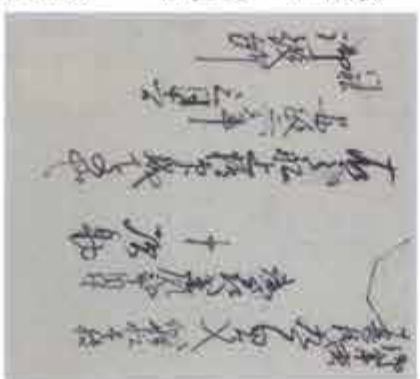
年貢長尺	150文~400文	…「守」字
	450文~700文	…「文」字
	750文~1貫文	…「立」字
	1貫50文以上	…「全」字
		…「吉」字

産業の興隆

船台帳 当館蔵

大正10年(1921)から昭和23年(1948)までの船台帳台帳です。

船の石数・トン数や税額、鑑札番号、船名、所有者等が記載されています。当時古新田にあった日本煉瓦製造株式会社船止工場では、原土の搬入や製品出荷のために「鄂〇〇中川丸」と名乗る多くの社用船を所有していたことがわかります。



寛(下肥代金受領二付) 個人(八潮市)蔵

江戸(東京)と市域との商品取引の中で、最も取り扱いきれた商品が下肥(人糞尿)です。発酵させると効果的な農業肥料となることから、江戸近郊の農村部で盛んに用いられるようになり、大量の下肥が入手先である江戸から船で農村部へ運ばれました。資料は、長屋の共同便所の汲み取り糞半年分を前払いした際、長屋の大家が発行した領収書です。



日本煉瓦製造株式会社船止工場の回漕船 深谷市教育委員会蔵



川船による輸送が盛んであった八潮市域に最初に鉄道が走るののは、今から12年前、平成17年(2005)8月24日のことです。

東京に隣接する八潮では、都内に出るためだけの旅客輸送や商品の貨物輸送のため、鉄道計画が過去にいくつも立ちあがりませんでした。確認できていないだけでも、明治29年(1896)から昭和3年(1928)の間に計画された鉄道は8つにもほりまします。中でも大正12年(1923)と昭和2年(1927)の2度にわたって出願された筑波高速電氣鉄道は、東京から八幡村・潮止村を通り筑波山を目指すルートでした。当時は実現には至らず幻となりましたが、市域を走る初めての鉄道として開業することになったつくばエクスプレスは、筑波高速電氣鉄道とはほぼ同じルートを通ることになりました。

現在の鉄道～東武鉄道～

陳情書 当館蔵

八潮市に隣接する足立区や草加市には、東武鉄道が通っています。開通当初は石炭による蒸気機関車が走っていました。鉄道の開通により、各地の様々な物資が東京へ集まり、人々の往来も盛んになりました。そして八潮をはじめとする東京近郊には、居住を求め人や物資取引のために行き来する人が集中することとなりました。

そこで大正12年(1923)5月、八幡村長及び八幡村長は草加町長らとともに、鉄道電化の計画を草加駅まで延伸して欲しいと、東武鉄道に陳情しました。その結果2年後には、越谷駅まで電化されました。電化することで、燃料を車頭に搭載する必要がなく速度向上等が見込めたのではないのでしょうか。



過去の鉄道～馬車鉄道～

千住馬車鉄道線路



草加市蔵

過去には、千住茶釜橋一軒間を千住馬車鉄道が、千住一大沢間を草加馬車鉄道が走っていたことがありまします。これらは、現在の東武スカイツリーラインとはほぼ同じルートで運行していました。

しかし、明治32年(1899)に馬車鉄道より速い蒸気機関車が走る東武鉄道が開業したことや、動力源であった馬の死などにより、明治26～33年(1893～1900)の7年間という短い期間で営業は終わってしまいました。

幻に終わった鉄道計画

関東鉄道出願ノ軽便鉄道敷設ノ件二付回答

当館蔵

明治28年(1895)から昭和初期にかけて、多くの鉄道が全国で計画されました。市域を通る路線計画として確認できている最初の鉄道は、明治29年(1896)の水海道鉄道で、東京から茨城県水海道町(現常総市)を目指すルートです。

関東鉄道が八幡村を通る路線として計画されたのは、大正元年(1912)になります。しかし、田畑に専心努力する農業を中心とした村であるため、鉄道を敷設することで用排水の支障や障害が甚大であるとして、村長は「鉄道敷設の必要を認めませんでした」。



悲願の鉄道開通へ

地方鉄道敷設二関スル

取調ノ件(回答) 当館蔵

大正12年(1923)、八幡村・潮止村を通るルートとして第1期の筑波高速電氣鉄道の計画が出願されました。どちらの村も交通完備を図るために鉄道の敷設が必要であると考えており、関東軽便鉄道が計画されてからたった12年で鉄道の輸送能力がいかに重要視されるようになったのかが見えてきます。



つくばエクスプレス

開業記念グッズ

当館蔵



「都市交通対策上、喫緊の課題である」と昭和60年(1985)に運輸政策審議会から答申された常磐新線の開業に向け、平成3年(1991)3月に沿線の1都3県を主体とした第三セクター「首都圏新都市鉄道株式会社」が設立されました。市域を通る鉄道として明治29年(1896)に水海道鉄道が計画されてから109年、ついに住民の悲願であった鉄道敷設は、平成17年(2005)8月24日につくばエクスプレスとして実現しました。

第7回 東部地区文化財担当者会巡回展

埼玉県

東部地区の交通

◎ 巡回展実施会場一覧

● 2017年度

①宮代町郷土資料館(資料展示)

平成29年3月18日～5月7日

②行田市郷土博物館(一部資料展示)

平成29年6月18日～7月17日

③パストラルかぞ(パネル展示)

平成29年8月2日～16日

④白岡市役所(パネル展示)

平成29年9月8日～10月10日

⑤八潮市立資料館(資料展示)

平成29年10月21日～12月3日

⑥松伏町中央公民館(一部資料展示)

平成29年12月7日～27日

⑦久喜市立郷土資料館(一部資料展示)

平成30年2月3日～3月18日